

おおさかしきょうういんかい
大阪市教育委員会では、SNS を活用した相談窓口を開設し、いじめや不登校等に悩む児童生徒
の「相談したい気持ち」に応える事業を行っています。
詳細については、各学校からの通知文書や資料を参考にしてください。



困ったときの
連絡先
相談

警察に相談したい

★「警察相談室 警察への各種相談」

① 06-6941-0030

② #9110

★「性犯罪被害110番」

① 0120-548-110

② #8103

★「少年総合相談グリーンライン」

06-6944-7867

子どもがインターネットトラブルに巻き込まれたり、どうしたら
よいのか迷つたりしたときは、次の相談窓口に連絡しましょう。

SNS のトラブルに関する悩みや不安について話をしたい

★誹謗中傷が書き込まれた



大阪府インターネット誹謗中傷トラブル相談窓口
ネットハーモニー

★悩みや不安を聞いてほしい



まもろうよ こころ
厚生労働省

★削除したいけれど…



インターネット上の違法・有害情報に関する相談窓口
違法・有害情報相談センター

★法的に解消したい



法テラス
法務省

♪お役立ち情報

大人も子どもも
一緒に学ぼう！



★子ども
ネットのトリセツ



安心ネットづくり促進協議会

★インターネット
トラブル事例集



総務省

★#No Heart
No SNS



リージャルメディア利用環境整備機構

子どもたちの幸せな生活のために

□ 有害情報などの危険性についてしっかり話し合いましょう。



□ 家庭での利用ルールを決め、守る工夫をするとともに、マナーについても話し合いましょう。

自律する力を育てることが肝心！子どもの発達段階に合わせたルールづくり、また、子ども自身が
利用方法を考え、行動をふりかえることに意義があります。子どもと定期的に話し合い、見直しをしましょう。

子どもの安全を守るのは大人の役割です。

子どもと一緒に大人も考えましょう。



インターネットと かしこくつき合うために

かぞく いっしょ かんが
家族で一緒に考えよう



保護者のみなさまへ

子どもの創造力は無限大。

生まれた時から、ネットがあるのは当たり前のデジタルネイティブ世代
の子どもたちは、今、様々な情報機器を使って、情報収集、コミュニケーション、創造活動と、自らの世界を広げています。

一方、ネットで様々な困りごとやトラブルにも遭遇します。子どもたち
がネットと上手につき合うために、大人にできることは、どのようなこと
でしょうか。

※ 本リーフレットは多言語対応二次元コードを記載しております。二次元コードを読み取り、言語設定を
合わせてお使いください。なお、下部に表示される広告は本市と一切関係ございません。



大阪市教育委員会事務局指導部
大阪市PTA協議会

Please scan these codes
for multilingual help

いえ
家ではゲームやSNSにばかり没頭して…どうしたらいいのかしら?

青少年のインターネットの利用時間 (□は3時間以上)

年齢	時間帯	割合
小学生	0~1時間未満	6.8%
	1時間以上2時間未満	18.7%
	2時間以上3時間未満	19.2%
	3時間以上4時間未満	13.7%
	4時間以上5時間未満	8.9%
	5時間以上6時間未満	6.2%
	7時間以上	3.7%
中学生	0~1時間未満	2.7%
	1時間以上2時間未満	17.2%
	2時間以上3時間未満	13.7%
	3時間以上4時間未満	8.2%
	4時間以上5時間未満	17.2%
	5時間以上6時間未満	12.8%
	7時間以上	9.7%

ネットの時間を減らそうとするが、うまくいかないことがある

小学6年生(%)

ない	45.1
ある	54.9

中学2年生(%)

ない	40.8
ある	59.2

■分からない ■1時間未満 ■1時間以上2時間未満 ■2時間以上3時間未満 ■3時間以上4時間未満
■4時間以上5時間未満 ■5時間以上6時間未満 ■6時間以上7時間未満 ■7時間以上

こども家庭庁「令和5年度青少年のインターネット利用環境実態調査」より
大阪市教委「令和5年度パソコンや携帯電話・スマートフォン等に関する調査」より

インターネットの長時間利用によって、児童青少年の日常生活、人間関係、健康といった面に影響を及ぼすという事例が報告されています。子どもたちは、使いすぎがよくないことも分かっていますが、止めどきが難しいのが、ゲームや動画視聴、SNSの特徴でもあります。

ネットでのやりとり、トラブルに遭ってないか心配…

令和5年SNSに起因する事犯の被害児童数 **1665人**

最初の投稿者

学識別	被害児童数 (人)
小学生	139
中学生	748
高校生	713
その他	65

▲小学生的被害が年々増加

▲知り合ったきっかけは被害児童の投稿

警察庁「令和5年における少年非行及び子どもの性被害の状況」より
※ 本調査における児童とは18歳未満をいう。

子どものオンラインデビューは、大半たちが想定するよりもずっと早く、様々な危険やトラブルに遭遇しています。また、現在、SNS上のいじめなどの見えづらい事例が増加しています。

A cartoon illustration of a family of four. On the left, a woman and a man are looking at a smartphone screen with concerned expressions. A speech bubble from the man says, "SNS ねいせいげん SNSに年齢制限があるのは知っていますか？" (Do you know that there is an age limit for SNS?) and "利用者が18歳未満の場合、保護者が安全管理をする必要があります。" (If the user is under 18, the guardian must manage safety). On the right, a woman and a man are looking at a smartphone screen with a worried expression. A speech bubble from the woman says, "ネット上に残る個人のデータや情報は、一度拡散されると完全に消すことはできません！" (Once personal data and information are released onto the network, they cannot be completely erased!). At the bottom, a man is looking at a smartphone screen with a neutral expression. A speech bubble from the man says, "投稿前にしっかりと考えることを習慣づけるようにしましょう。SNS上での情報公開の範囲について保護者も一緒に考えてください。" (Let's establish the habit of thinking carefully before posting. Please consider the range of information disclosure together with the guardian).

The diagram consists of two main sections. The top section, titled 'Realistic conversation and Online communication', contains two boxes: 'Realistic conversation' (リアルな会話) and 'Online communication' (オンライン・コミュニケーション). The bottom section, titled 'Features of SNS communication', contains two boxes: 'SNS communication' (SNSでの会話) and 'Features of SNS communication' (SNSでの会話の特徴). Arrows point from the top section to the bottom section, indicating a relationship or comparison between the two.

かてい らい
家庭でのルール【例】

りょうじかん しゃくりょうじこく き
利用時間(終了時刻)を決める

つか ぱしょ き
使う場所を決める

いしふ ちこ こ
(寝室には持ち込みない)

せいひじかん せってい
生活時間を設定する

さんどうじかん
・運動時間

りゅうみ じかん
・趣味の時間

かそくだん じかん
・家族団らんの時間 など

かてい れい
家庭でのルール【例】

- あいて き も かんが おく
 相手の気持ちを 考えて送る
- こま あとな そうだん
 困ったらすぐに大人に相談する
- じぶん はか したぎ しゃしん ぜたい
 自分の 裸 や下着の写真は絶対
と
に撮らない

将来の自分の自信につながる足あとを

思春期の特徴として、次のようなことがあります。

- ・ こだわりが強くなり、周囲の大入へ反発したり、刺激をもとで求めで衝動的になったりする。
- ・ 新しいことに挑戦したい気持ちや社会的承認を得ることへの欲求が大きくなる一方で、自信がもてず不安になったり傷つきやすくなったりする。

現在、SNS上で「なりたい自分」や「違う自分」を演じることは、子どもたちにとって、自己表現を楽しむことであり、自分のアイデンティティを形成する、心理的な成長過程の一つともなっています。

しかし、本當は居心地が悪いのに、まわりの期待にこたえようと、無理やり続けてしまう場合などは注意が必要です。

かてい
家庭でのルール【例】

しふん
☑ 自分の ID やパスワードは
じぶん かんり
自分で管理する

こじんじょうほう
☑ 個人情報やプライベートな
じゆうじょう か こ
情報は書き込まない
わる

ふてきせつ
☑ 悪ふざけなどの不適切な
とうこう
投稿はしない

なりすまし どうこう
フェイク情報で罪
に問われることも!

POINT



QR code for Multilingual